

交差点事故をなくそう 歩行者・自転車 再確認

《過労運転の防止》

- 「ぼ～っと」すると…目は開いていても…見えていません
- …「その運転、大変危険です」
- こまめに休憩をとりましょう (2時間走行15分休憩)
- 運転中は、常に、危険です 緊張感のゆるみに注意しましょう
- 視線を固定しない…ミラーを見る、歩道に目を向ける、情報表示板・標識を見る
- 健康管理で、事故も病気も防ぎましょう

《熱中症予防》

- 疲れを感じる前に、早目の休憩で過労防止
- 熱中症予防のため、「水分」と適度な「塩分」補給

バックする時 「たぶんいないだろう…」は、ダメ

信号待ち車への追突 漫然運転、わき見運転に注意しましょう

確認してからハンドル操作 すべての操作は必ず、確認してから行いましょう

運転中 子どもの動きに 注意しましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

午前3時半 陸橋のある交差点付近 横断歩道のない場所を…右から渡る

70代の歩行者男性が、乗用車にはねられた後、軽乗用車にもはねられ死亡

- ◇高齢者は、「横断歩道のない場所」を…渡ってきます、細心の注意をしましょう◇
- ◇夜間 右からの横断歩行者・自転車は、『発見が遅れる』ので注意しましょう◇

2024/8/13(火)

13日午前3時30分ごろ、岡山県の交差点付近で70代の男性が道路を歩いて横断中に左から走ってきた乗用車にはねられた後、後続の軽四自動車にもはねられたとみられます。この事故で、男性は搬送された病院で死亡が確認されました。現場は、陸橋のある交差点付近で男性は横断歩道ではないところを横断したとみられています。乗用車を運転していた50代の男性、また、軽四自動車を運転していた70代の男性にけがはありませんでした。

午後3時 国道の横断歩道のない場所 自転車の高齢女性 乗用車にはねられ、頭を強く打ち死亡

- ◇高齢者は、「横断歩道のない場所」を…渡ってきます、細心の注意をしましょう◇

2024/8/11(日)

10日午後3時半前、青森県の国道で、自転車に乗っていた女性(79)が乗用車にはねられ、頭を強く打つなどしておよそ1時間半後に病院で死亡が確認されました。現場は片側1車線の直線道路で近くに横断歩道はなかったということです。警察は乗用車を運転していた男性に話を聴くなどして事故の原因を調べています。

深夜3時 信号交差点 右折の乗用車にはねられ 16歳の少年が重傷

- ◇ショートカット右折をしない (道路交通法にも禁止)◇
- ◇ショートカット右折は、ミラーとピラーの「死角」をつくる、歩行者を「見落とす」◇
- ◇右折時は、「大きく曲がって」、ミラーとピラーの「死角」をつくらぬ◇

2024/8/13(火)

13日午前3時20分ごろ、静岡県の信号交差点付近で、乗用車を運転していた男性と同乗していた人から「事故を起こしてしまった」などと警察に通報がありました。この事故で、16歳の少年が太ももの骨を折る重傷を負いました。乗用車を運転していた23歳の男性と同乗者にけがはありませんでした。警察によりまず乗用車は交差点を右折した先で少年をはねたとみられていて、警察は当時の状況を詳しく調べています。